

# 1. FlexNet オプションファイル

FlexNet Publisher では、オプションファイルを設定することにより、特定のマシンにのみライセンスを許可するなど、細かい制御を行うことができます。

## 1. FlexNet オプションファイル

FlexNet オプションファイルとは、FlexNet ネットワークライセンスに対して、オプション構文を設定し、ネットワークライセンスアクセスの制御など行うためのファイルです。

オプションファイルのデフォルトは空となっています。

オプションファイルの内容は、メモ帳、または、任意のエディタを使用して編集してください。

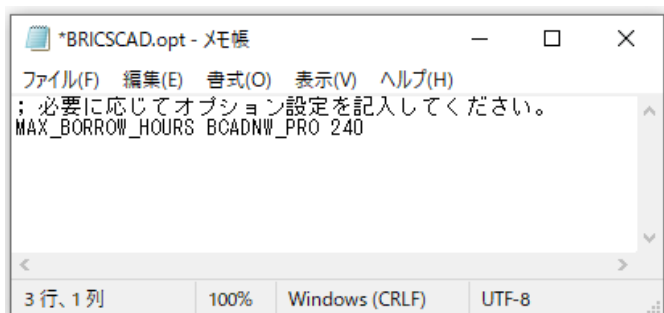
## 2. FlexNet オプションファイル制限

保存時は必ず UTF-8 形式で保存してください。

オプションファイルは必ずライセンスファイルと同じ場所に保存してください。

オプションファイル名と配置場所は以下のとおりです。

オプションファイルの 1 行目は必ずコメント行を入れてください。;(コメントアウト)、#(コメント)で始まる記述とします。



オプションファイル内ではすべて、大文字と小文字が区別されます

## 3. オプションファイル名

オプションファイルは、ベンダー毎となります。BricsCAD と Alfatech 製品ではオプションファイル名が違いますのでご注意ください。

**BricsCAD 用のオプションファイル名** : BRICSCAD.opt

**配置場所** : ライセンスファイル(.lic)と同じフォルダ

**Alfatech 製品用のオプションファイル名** : alfaflex.opt

**配置場所** : ライセンスファイル(.lic)と同じフォルダ

※ BricsCAD と Alfatech 製品では、設定するオプションファイルが異なります。

※ オプションファイルを編集後、有効にするには、LMTOOLS にて使用するサービスを再起動してください。



## 2. FlexNet オプション構文

FlexNet オプションには、様々なオプション構文があります。よく使用されるものを抜粋してご紹介します。

### 1. オプションファイルキーワード

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

| オプション・キーワード      | 説明                                                |
|------------------|---------------------------------------------------|
| INCLUDE          | 指定した対象にのみ、使用を許可する。                                |
| INCLUDE_BORROW   | 指定した対象にのみ、貸し出しを許可する。                              |
| EXCLUDE          | 指定した対象に対し、使用を禁止する。                                |
| EXCLUDE_BORROW   | 指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。                              |
| MAX              | 指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。                         |
| RESERVE          | 指定した対象に対し、ライセンスを予約する。                             |
| GROUP            | ユーザーグループを定義する。                                    |
| HOST_GROUP       | PC グループを定義する。                                     |
| TIMEOUT          | クライアントが取得したまま、未使用状態が続いたときにライセンスを回収する時間を定義する。(秒単位) |
| MAX              | 最大使用ライセンス数を定義する。                                  |
| MAX_BORROW_HOURS | クライアントにライセンスを貸し出す期間を定義する。(1 時間単位)                 |
| BORROW_LOWWATER  | 借用できないライセンス数を設定する                                 |
| MAX_BORROW_HOURS | ライセンス借用の最大時間を指定する。                                |

### 2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)

オプションファイルで製品ライセンスごとに指定する場合、製品のライセンスコード毎に指定します。

#### BricsCAD ライセンスコード

| 製品名グレード               | ライセンスコード     |
|-----------------------|--------------|
| BricsCAD Lite/Classic | BCADNW       |
| BricsCAD Pro          | BCADNW_PRO   |
| BricsCAD Platinum     | BCADNW_PT    |
| BricsCAD Mechanical   | SheetMetal   |
| BricsCAD BIM          | BIM          |
| BricsCAD Communicator | communicator |

#### Alfatech 製品のライセンスコード

| 製品名              | ライセンスコード |
|------------------|----------|
| BJ-Electrical    | BJE      |
| BJ-Mechatool     | BJM      |
| BJ-Mechatool Pro | BJMPRO   |
| BJ 変換 JW・SXF     | BJTRANS  |

### 3. 識別

識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

| 識別         | 説明                                 |
|------------|------------------------------------|
| USER       | プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名) |
| HOST       | アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名         |
| GROUP      | オプション行の中で定義したユーザーグループ名             |
| HOST_GROUP | オプション行の中で定義したマシングループ名              |

※ "GROUP", "HOST\_GROUP" は、対象が多いときに、グループ指定するために使用します。

#### 4. ライセンスの返却(タイムアウト)

クライアント PC で BricsCAD を起動し、ライセンスを取得したまま使用していない場合でも、BricsCAD を終了しない限りライセンスはそのクライアント PC に保持されます。

タイムアウトオプションを設定すると、設定時間実行されない場合にはライセンスはサーバーに自動返却されません。

構文: TIMEOUT

書式: 構文 ライセンスコード 値

※値は秒単位で指定します。(3600 秒=1 時間)

ライセンスのタイムアウトを設定 例

TIMEOUT BCADNW 3600

#### 5. ライセンス使用の許可

ライセンス使用を許可するユーザーを設定します。

構文: INCLUDE

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC1 と PC2)にのみ、BricsCAD Pro グレードのライセンス使用を許可する例

INCLUDE BCADNW\_PRO HOST PC1

INCLUDE BCADNW\_PRO HOST PC2

#### 6. グループの定義記述例

Windows のログイン名、PC 名にてグループの定義が可能です。

対象の PC またはユーザー数が多い場合、グループを定義することが可能です。

構文: HOST\_GROUP グループ名 クライアントホスト名(、カンマ区切りで複数指定可能)

グループ A とグループ B を作成し、それぞれに INCLUDE(ライセンス使用許可)構文を設定した例

HOST\_GROUP GROUP\_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST\_GROUP GROUP\_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

# GROUP\_A のみに BricsCADPro の使用を許可

INCLUDE BCADNW\_PRO HOST\_GROUP GROUP\_A

# GROUP\_B のみに BricsCADClassic の使用を許可

INCLUDE BCADNW HOST\_GROUP GROUP\_B

#### 7. 最大使用ライセンス数の指定

最大使用ライセンス使用を指定することができます。

構文: MAX

書式: 構文 ライセンスコード クライアントホスト名またはグループ名(、カンマ区切りで複数指定可能)

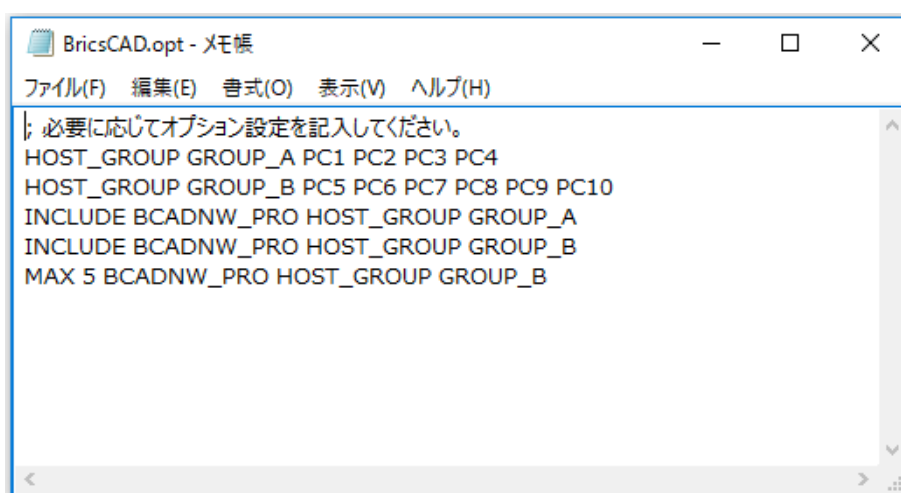
グループを定義し、グループ名で指定した例

(グループ B には 6 台の PC を登録していますが、6 台中 5 台までの同時使用を制限した例)

```
HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4
HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10
INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A
INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B
MAX 5 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B
```

※ライセンス数が 9 の場合、A グループでは常にライセンスを確保することができます。

(記述イメージ)



※A グループに対して「RESERVE」を使用してライセンス数を予約(確保)設定しても同じ効果となります。

最後の行を以下のように変更します。

```
RESERVE 4 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A
常に 4 ライセンスは A グループにて予約(確保)されます。
```

## 8. ライセンス借用の制限と禁止

借用できないライセンス数を設定します。

構文: BORROW\_LOWWATER

書式: 構文 ライセンスコード 値

製品(BricsCAD Pro)ライセンス数 10 に対して 5 ライセンスの借用を制限する例

```
BORROW_LOWWATER BCADNW_PRO 5
```

ライセンスの借用を禁止するユーザーを設定します。

構文: EXCLUDE\_BORROW

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC3,PC4)のライセンス借用を禁止する例

```
EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC3
```

```
EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC4
```

ライセンスの借用時間を制限します。

構文: MAX\_BORROW\_HOURS

書式: 構文 ライセンスコード 値

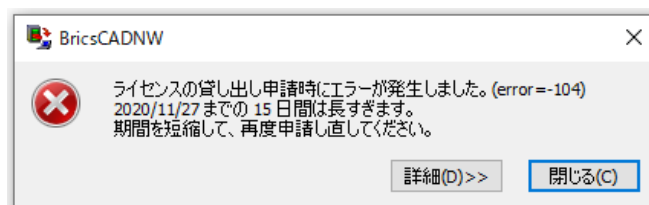
※値は 1 時間単位となります。

製品(BricsCAD Pro)の最大借用日数を 10 日とした例

```
MAX_BORROW_HOURS BCADNW_PRO 240
```

クライアントの借用ダイアログには制限日数は表示されません。

クライアントが最大日数以上の日を指定した場合は以下のメッセージが表示されます。

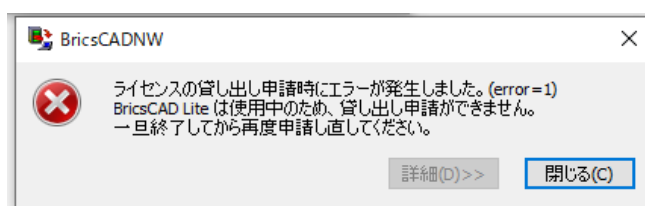


#### ご注意

クライアントがライセンスを借用状態で、PC が故障した場合など、不慮の動作によりライセンス返却が出来ない場合、サーバーからライセンスを強制回収することは出来ません。

ライセンス貸し出し申請日数が過ぎるまで、ライセンスは返却されませんのでご注意ください。

BricsCAD を起動したままではライセンスの借用はできません。以下のメッセージが表示されます。



BricsCAD を終了してから再度借用を実行してください。

BricsCAD を起動したまま返却を行うことは可能ですが、ライセンスは返却されていますのでライセンス数と起動 BricsCAD 数の不一致が発生します。

BricsCAD を再起動するまでは新たなライセンスを取得しませんのでご注意ください。